

◎16年産米の生産費は12万9585円

農林水産省は、2016年産米の10㍍当たり生産費（全算入＝資本利子・地代を含む）が、前年産比2.8%減の12万9585円だったと発表した。償却済み資産の増加で、農機具費が減少したことなどが要因。なお、60㍍当たり生産費は5.2%減の1万4584円だった。（6日）

◎米卸・京山が週刊誌に対し損害賠償訴訟

米卸・京山（京都市）は、今年2月に『週刊ダイヤモンド』が自社の国産米に中国産米の混入を疑う記事を掲載したことを受け、発行するダイヤモンド社などに対して損害賠償を求める訴訟を起こしたと発表した。なお、農林水産省が6月に実施した京山への立ち入り検査では、国産米4品種に外国産米の混入が疑われる点は確認されなかった。（6日）

◎日本版GPSへ準天頂衛星の打ち上げに成功

内閣府は、日本版の衛星利用測位システム（GPS）を担う準天頂衛星「みちびき4号機」の打ち上げに成功したと発表した。位置情報を高精度で測位し、来年度から4機体制で運用を開始する。農業分野では農機などの自動運転などへの活用が期待される。（10日）

◎効果高い食育活動は「農林漁業体験」が最多

農林水産省は、食育活動と国産農林水産物・食品に関する意識・意向調査を公表した。実際の食生活改善などのために効果が高い食育活動は「農林漁業体験」が80.9%と最も多く、次いで「採れたての食べ物を食べるなど食べ物のおいしさに感動すること」が77.3%だった。食への関心を持ち続けるのに必要な食育活動に触れる機会の頻度は「年に数回」が47.4%で最多だった。（10日）

◎新燃岳が約6年ぶりに噴火

宮崎と鹿児島県の県境にある霧島山（新燃岳）が約6年ぶりに噴火した。気象庁では、今後さらに活動が活発になる可能性があることから、噴火警戒レベルを3（入山規制）に引き上げた。（11日）

◎NOSA I全国が全国参事会議

NOSA I全国（全国農業共済協会、＝橋博会長）は、全国参事会議を開いた。2018年度から取り組む次期全国運動の要綱骨子（案）などを協議し、18年度収入保険・農業共済関係予算の要請運動の内容や、農業災害補償制度70周年記念事業の状況などを確認した。（11日）

※＝はしごの高

◎今秋か冬にラニーニャ現象発生の可能性

気象庁は、エルニーニョ監視速報を公表した。監視海域の海面水温が基準値より低くなるなどラニーニャ現象時の特徴が明瞭になりつつあるとして、今秋か冬に発生する可能性は50%としている。同現象が発生すると、11～1月の平均気温は東日本で低く、降水量は東・西日本太平洋側で少なく、日照時間は北日本太平洋側と西日本で多い傾向がある。（11日）